



2019年9月2日

報道関係者各位

株式会社協和企画

**海外渡航者に対する標準的予防の普及のために
『海外渡航者のためのワクチンガイドライン/ガイダンス 2019』
一般販売開始**

株式会社協和企画（代表取締役社長：山田淳史、本社：東京都豊島区）は、9月2日より『海外渡航者のためのワクチンガイドライン/ガイダンス 2019』の販売を開始しましたので、お知らせいたします。

◎ **定価**：本体 3,000 円 + 税

◎ **体裁**：A4 判、本文 178 ページ

◎ **改訂版作成の背景**

予防接種は渡航に際しての感染症対策として欠くことのできない手段の 1 つである。日本渡航医学会は 2010 年に『海外渡航者のためのワクチンガイドライン 2010』を刊行したが、その目的は、①渡航者の健康を守るための予防接種の有効かつ安全な実施、②国内諸規定に則った予防接種の解説、③わが国では未承認・適応外・適応対象が制限されているワクチンについての世界の標準的指針に関する情報提供、④国内未承認ワクチン使用時に心得ておくべき事項の情報提供、⑤上記①～④による渡航者に対する適切な予防接種の普及であった。

本書は初版の『海外渡航者のためのワクチンガイドライン 2010』の改訂版であり、トラベラーズワクチンを取り巻く社会情勢の変化を踏まえて作成が企画された。この背景には、2013 年の予防接種法の改正で公的に接種される定期接種ワクチンは格段に増えたものの、渡航医学の領域では海外で通常に接種されるワクチンでも依然として国内未承認製剤が多く十分な情報提供が必要であることや、渡航目的や渡航者特性の多様化、激増するインバウンドへの対応、さらには追加接種やキャッチアップ接種に関する指針も充実させる必要があったことが挙げられる。

◎ **本書の特徴**

今回の改訂では、研究によるエビデンスの集積が困難な事項も多いトラベラーズワクチン領域にあって、現場で適切な接種を普及させるために、エビデンスのシステムティックレビューとその総体評価、益（疾病の予防効果、他）と害（副反応の可能性、他）のバランスなどを考量して、最善のアウトカムを目指した推奨を呈示すべく Clinical Question（CQ）を設定した。もちろん、渡航者の特性や背景を理解することも不可欠であるため、改訂版は「ガイドライン編」と「ガイダンス編」の構成とし、また付録として、疾患別のワクチンがまとめて閲覧できるように「各ワクチン概要と接種法一覧」を掲載し、さらに渡航者から相談の多い「マラリア予防」についても概説している。

2010 年版の本書は 2 色刷りでしたが、改訂版ではオールカラーとして読みやすくし、頁数も本文 178 ページと倍増している。

※注文は全国の医書取扱書店、また弊社ホームページにて受け付けています。

本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社協和企画 〒170-8630 東京都豊島区東池袋 3-1-3
担当：小栗（おぐり） e-mail:m_oguri@kk-kyowa.co.jp